

エコアクション 21 環境経営レポート

令和 5 年度版

(令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)



株式会社麻生マイニング

令和 6 年 7 月 8 日発行

目 次

1. 組織の概要	P.3-5
2. 環境経営方針	P.6
3. 当年度及び中期環境経営目標	P.7-8
4. 当年度の主要な環境経営計画	P.9
5. 運用期間の環境経営目標の実績	P.10-11
6. 環境経営計画の取組結果とその評価	P.12-13
7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.14
8. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無	P.14
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.14

1. 組織の概要

事業者名 株式会社麻生マイニング

代表者名 代表取締役社長 田上 智徳

所在地 本 社 福岡県飯塚市芳雄町 7 番 18 号
田川事業所 福岡県田川市弓削田 2800 番地

資本金 4000 万円

設立年月日 平成 30 年 12 月 7 日

環境管理責任者 橋本 健一

連絡先 TEL 0948-23-5837

FAX 0948-23-1046

E-mail mining-p01@aso-group.co.jp

事業の概要 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(医療系)
石灰石販売業、セメント生産関連請負業

事業の規模 (事業年度 : 4 月 1 日 ~ 翌年 3 月 31 日)

	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
売上高	55,475	52,882	55,157	58,657	66,526
従業員	12	12	12	12	12
床面積	52	52	52	52	52

廃棄物収集運搬実績 (単位 : t)

種類		令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
特別管理産業廃棄物	感染性廃棄物	561.1	553.6	607.5	675.2	656.3
	廃プラスチック	57.0	53.0	49.0	46.0	44.3
産業廃棄物	ガラスくず及び金属くず	5.9	5.3	4.7	4.8	4.7
	廃酸	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
	廃アルカリ	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
合計		624.4	612.2	661.4	726.2	705.5

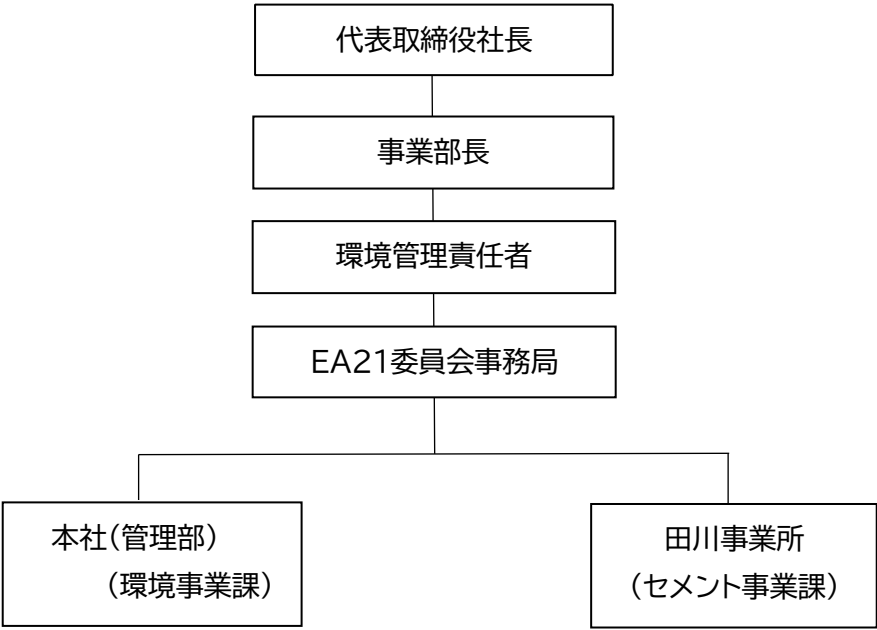
認証・登録範囲

対象組織: 本社・田川事業所

対象活動: 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

石灰石販売業、セメント生産関連請負業

実施体制



所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表取締役社長 事業部長	全体の統括、経営方針の設定、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握・環境経営システムを構築するとともに、運用しその状況を事業部長、又は 代表取締役社長に報告する
EA21委員会・事務局	委員会を1ヶ月に1回開催し、環境目標達成状況及び活動計画の実行状況を審議する EA21文章及び記録類の作成・維持・管理 水使用量管理、電力使用量管理 燃料(ガソリン・軽油)使用量管理
本社 (管理部門) (環境事業課) 田川事業所 (セメント事業課)	電気(エアコン、PC)使用状況の管理 事務所内排出品の管理 ----- 環境管理責任者の指導の下、具体的な取り組みを実践し推進する。

産業廃棄物収集運搬業の許可状況

産業廃棄物収集運搬業				許可項目(事業の範囲)																その他				
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ダスト類(ばいじん)	紙くず	木くず	13号廃棄物	動物残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積 許可の条件
	有	無																						
福岡県	●		R6. 3. 5 R11. 3. 4	04000205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし
山口県	●		R6.2.25 R11.2.24	03500205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県	●		R6.2.18 R11.2.17	04101205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						積替保管なし 許可の条件なし

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可項目(事業の範囲)																		その他		
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB	廃石綿													積替保管施設の所在地及び面積 許可の条件
	有	無																						
福岡県		●	R6. 3. 5 R11. 3. 4	04050205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし	
山口県		●	R6.2.25 R11.2.24	03550205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし	
佐賀県		●	R6.2.18 R11.2.17	04151205679	●	●	●	●	●														積替保管なし 許可の条件なし	

産業廃棄物収集運搬車両の種類と台数

車両番号	車両形式	積載量	保有台数
筑豊100さ78-59	保冷車	2,000kg	1台
筑豊100さ77-59	保冷車	2,000kg	1台
筑豊100さ65-50	保冷車	3,000kg	1台
筑豊880あ5-53	冷蔵冷凍車	350kg	1台

2. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社麻生マイニングは、地域環境の改善を重要な課題と位置づけ、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬事業の活動を通じて環境への負荷低減に積極的に取り組めます。そのためエコアクション21に基づく環境経営システムを構築・運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

【行動指針】

環境経営システムを構築・運用し継続的な取組を進めるため、この行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画等を定め、実効性のある活動を展開します。

1.二酸化炭素の排出削減

節電を励行するとともに、エコドライブを実施して収集運搬車のガソリン、軽油の使用量を削減します。

2.水使用量の削減

節水に努め、水使用量を削減します。

3.環境にやさしい製品・サービスの採用を進めます。

4.環境活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。

5.環境経営の継続的改善に取り組むことを誓約します。

6.地域社会と良好なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。

7.この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。

8.この環境方針は広く一般に公表します。

令和 2 年 6 月 22 日制定
株式会社麻生マイニング
代表取締役社長 田上 智徳

3-1.当年度及び中期環境経営目標 本社(管理部・環境事業課)

項 目	単位	(基準)	目 標		
		令和元年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	57,281	(1.5%削減) 56,422	(1.5%削減) 56,422	(1.5%削減) 56,422
軽油使用量の削減	ℓ	21,872	(1.5%削減) 21,544	(1.5%削減) 21,544	(1.5%削減) 21,544
ガソリン使用量の削減	ℓ	367	(1.5%削減) 361	(1.5%削減) 361	(1.5%削減) 361
廃棄物排出量の削減	m ³	2.61	(7.0%削減) 2.43	(7.0%削減) 2.43	(7.0%削減) 2.43
水使用量の削減	m ³	21.0	(7.5%削減) 19.4	(7.5%削減) 19.4	(7.5%削減) 19.4
燃費の向上 (軽油使用車両)	km/ℓ	7.24	(0.8%向上) 7.29	(0.8%向上) 7.29	(0.8%向上) 7.29

1. 電気使用量は、事務所賃借料に含まれているため、取り上げておりません。
2. 水使用量は、駐車場の水使用量のみと致します。
(事務所水使用量は、賃借料に含まれているため、取り上げておりません。)
3. 化学物質は未使用のため、目標に取り上げておりません。

3-2.当年度及び中期環境経営目標 田川事業所(セメント事業課)

項 目	単位	(基準)	目 標			
		令和 3 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	6,585	(1.5%削減) 6,486	(1.5%削減) 6,486	(1.5%削減) 6,486	
電力 200V 使用量の削減	kWh	2,818	(1.5%削減) 2,776	(1.5%削減) 2,776	(1.5%削減) 2,776	
電力 100V使用量の削減	kWh	5,423	(1.5%削減) 5,342	(1.5%削減) 5,342	(1.5%削減) 5,342	
ガソリン使用量の削減	ℓ	1,513	(1.5%削減) 1,490	(1.5%削減) 1,490	(1.5%削減) 1,490	
廃棄物排出量の削減	m ³	5.5	(7.0%削減) 5.12	(7.0%削減) 5.12	(7.0%削減) 5.12	
燃費の向上	km/ℓ	6.65	(1.0%向上) 6.72	(1.0%向上) 6.72	(1.0%向上) 6.72	

1. 水使用量は、事務所賃借料に含まれているため、取り上げておりません。
2. 化学物質は未使用のため、目標に取り上げておりません。

① 当年度の主要な環境経営計画

4-1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。
- ・パソコンをエコモードに設定。
- ・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。

(2) 燃料使用量の削減（燃費の向上を含む）

- ・車のアイドリングストップの実施。
- ・回収ルートの検討・見直しの実施。
- ・車のエコドライブの実施。
- ・積載オーバーをしない。

4-2 廃棄物排出量の削減

- ・事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

4-3 水使用量の削減

- ・手洗い、うがい時の節水励行。
- ・蛇口締め忘れ再確認励行。
- ・洗車時の節水。

5-1.運用期間の環境経営目標の実績 本社(管理部・環境事業課)

令和 5 年度の目標に於ける実績は、下記の通りでした。

項 目	単位	令和 1 年度	令和 5 年度	令和 5 年度	目標の達成率 (目標/実績)
		(基準)	目標	実績	
二酸化炭素排出量 の削減	kg- CO ₂	57,281	(1.5%削減) 56,422	36,765	153.5%
軽油使用量 の削減	ℓ	21,872	(1.5%削減) 21,544	14,137	152.4%
ガソリン使用量 の削減	ℓ	367	(1.5%削減) 361	125	288.8%
廃棄物排出量 の削減	m ³	2.61	(7.0%削減) 2.43	1.17	207.7%
水使用量の削減	m ³	21.0	(7.5%削減) 19.4	9.0	215.5%
燃費の向上 (軽油使用車両)	km/ℓ	7.24	(0.8%向上) 7.29	8.15	111.8%

5-2.運用期間の環境経営目標の実績 田川事業所(セメント事業課)

令和 5 年度の目標に於ける実績は、下記の通りでした。

項 目	単位	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度	目標の達成率 (目標/実績)
		(基準)	目標	実績	
二酸化炭素排出量 の削減	kg- CO ₂	6,585	(1.5%削減) 6,486	6,894	94.1%
電力 200V 使用 量の削減	kWh	2,818	(1.5%削減) 2,776	2,840	97.7%
電力 100V使用 量の削減	kWh	5,423	(1.5%削減) 5,342	6,430	83.0%
ガソリン使用量 の削減	ℓ	1,513	(1.5%削減) 1,490	1,456	102.3%
廃棄物排出量 の削減	m ³	5.5	(7.0%削減) 5.12	5.09	100.5%
燃費の向上	km/ℓ	6.65	(1.0%向上) 6.72	6.88	102.3%

6-1.環境経営計画の取組結果とその評価 本社(管理部・環境事業課)

(1)電気使用量の削減 : 結果 達成(数値評価なし)

本社事務所は、建物の一部を間借りしており、電気料(及び水道代)も賃料に含まれているため、数値化されておりません。よって、数値目標はありませんが、事務所内のスタッフは、電気使用量の削減に留意し、行動を実践しております。

(2)燃料の使用量削減 : 結果 達成

軽油使用量の目標を 21,544Lとしておりましたが、14,137Lの実績となり、目標達成率は 152%となりました。達成要因は、エコドライブの実践、運搬ルートの見直し、新型コロナで影響があった医療廃棄物排出量減少でトラックの走行距離が減ったことです。ガソリン使用量は、目標を 361Lとしておりましたが、125Lの実績となりました。

(3)廃棄物排出量の削減 : 結果 達成

事務所で排出されるごみの削減計画目標を 2.61m³としておりましたが、1.17m³の実績となり、目標達成率は 207%となりました。達成の要因は、不要用紙の裏紙を利用し、不要用紙をシュレッターにかけ再資源化に努め、飲食その他で発生する廃プラ容器類を出来るだけ出さないように努めた結果です。

(4)水使用量の削減 : 結果 達成

駐車場における水使用量は、目標を 19.4m³としておりましたが、実績 9.0m³となり、目標達成率は 215%となりました。

達成要因は、洗車時にこまめに蛇口を閉める。また汚れが酷くない時は洗車を見送るなど、常に節水に心掛けた結果です。

本社事務所は、水使用量が数値化されておりませんが、事務所のスタッフ全員が、日常的に節水を励行しております。

6-2.環境経営計画の取組結果とその評価 田川事業所(セメント事業課)

(1)電気使用量の削減(200V・100V)：結果 未達成

電気使用量削減(200V)活動目標 2,776kWhに対し、実績は 2,840kWh、▲64kWhの未達成。達成率は 97.7%となりました。未達成の要因は気温高のよる 7-9 月のエアコン使用量増が原因と思われます。

電気資料量削減(100V)活動目標 5,342kWhに対し、実績は 6,430kWh、▲1088kWhの未達成。達成率は 83%となりました。未達成の要因は業務増加のためと思われます。

(2)燃料の使用量削減：結果 達成

ガソリン使用量削減目標 1,490L に対し、実績 1,456L、34L 削減達成。達成率は 102%と りました。達成の要因は走行ルートの見直し、アイドリング削減等が原因と思われます。

(3)廃棄物排出量の削減：結果 達成

廃棄物排出量の削減目標 5.12 m³に対し、実績は 5.09 m³。0.03 m³削減達成。達成率は 100.5%となりました。達成の要因としては可燃物、廃プラ、ペットボトル、不燃ごみ、分別を細かく行った。又日常飲み物についても個人に負担のない程度でペットボトル製品又は缶製品を使用しないよう心がけました。

(4)水使用量の削減：結果 達成(数値評価なし)

田川事業所は、建物を賃貸借契約しており、水道料金も含まれる為、数値化されておりません。よって数値目標はありませんが事業所内スタッフは、水使用量の削減に留意し、行動を実践しております。

7.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、前述【4.当年度及び中間経営目標】の中期経営目標(令和5年度)の通りとする。

次年度の環境経営計画(取組)は、以下の通りとする。

7-1 二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量の削減

- ・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。
- ・パソコンをエコモードに設定。
- ・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。

(2)燃料使用量の削減

- ・車のアイドリングストップの実施。
- ・車のエコドライブの実施。
- ・運搬ルートの検討・見直し。(環境事業課)
- ・積載オーバーをしない。(環境事業課)

7-2 廃棄物排出量の削減

事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

7-3 水使用量の削減

- ・手洗い、うがい時の節水励行。
- ・蛇口閉め忘れ再確認励行。
- ・洗車時の節水(洗車時の出しっぱなしをなくす)

8. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無

主な環境関連法規などは下表の通りです。

○廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ○自動車リサイクル法

○廃棄物処理に基づく感染性廃棄物処理マニュアル ○道路交通法

これらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等ありません。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

令和5年度から田川事業所も加わり、会社全体で目標達成に向け取り組んできました。全員の努力でほとんど目標達成しましたが、残念ながら田川事業所の電気使用量が未達成でした。要因としては、24 時間操業のセメント工場関連業務のため、就業時間外業務が多いことが考えられ、自助努力では厳しい状況でした。

令和6年度は今まで以上に節電意識を持ち、気を緩めることなく目標達成に向けて取り組んでください。